

お客様と一緒に考える“6月環境月間”

「セブンプレミアム」で環境配慮への取り組みを訴求

環境月間に合わせ、セブン&アイグループ4社※1 約21,800店にて順次展開

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井阪 隆一）は、6月の環境月間に合わせ、セブン&アイグループ共通のプライベートブランド「セブンプレミアム」における環境配慮商品について、グループ各店の売場や店頭ポスター等で積極的に訴求いたします。

セブン&アイグループでは、「セブンプレミアム」において品質と環境配慮の両立を目指した商品開発に取り組んでおり、今回環境配慮のポイントを訴求した共通POPや店頭ポスター、特設ホームページを展開いたします。一例としてアイスクリームの「まるで完熟バナナ」では、お取引先様と連携し流通過程で発生する規格外のバナナを一部使用しており、食品ロス対策につながる商品として訴求いたします。今回の企画を通じて、お客様に環境に配慮した商品をより認知していただき、環境について一緒に考え、アクションにつながる機会の創出を目指します※2。

セブン&アイグループは、お客様やお取引様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と共に環境負荷低減を推進し、豊かな地球環境を未来世代に繋いでいくため、取り組んでまいります。

※1 セブン - イレブン、イトーヨーカドー、ヨーク、ヨークベニマル

※2 「セブンプレミアム」でグループ共通の環境配慮POPの展開は初

「セブン&アイグループの「環境月間」に合わせた取り組み」

＜各店の売場で掲出する環境訴求POP＞
「セブンプレミアム」商品から、「GREEN CHALLENGE 2050」の4つのテーマに添った環境配慮商品に、グループ共通のPOPを掲出。



※POPのイメージ

プラスチック対策



「一(はじめ)」シリーズに採用する「完全循環型ペットボトル」
◆ペットボトルの原材料として、セブン&アイグループの店頭で回収された使用済みペットボトルをリサイクルしたPET樹脂のみを、100%使用しています。



「セブンプレミアム カフェラテ」シリーズの脱プラスチック
◆フタ部分の素材の一部に環境に配慮したペットフィルムを使用し、印字のために巻いていた容器を包むフィルムを無くすことで、石油由来のプラスチック使用量を削減しています。

食品ロス対策



人気アイス「まるで」シリーズの食品ロス削減
◆Dole社が取り組む「もったいないバナナプロジェクト」に賛同し、流通過程で発生する規格外のバナナを活用したアイスです。

CO2排出量削減



「ポテトチップス」シリーズのパッケージの一部にバイオマス素材を使用
◆グループで大きな販売量のあるポテトチップスの包材の一部にバイオマス素材を使用し、CO2排出量および石油由来のプラスチックを削減します。

持続可能な調達



「セブンプレミアム ライフスタイル ボタニカル フォース」シリーズの持続可能な原料調達
◆使用している「アルガンオイル」は、フェアトレード原料を採用。容器や外装についてもバイオマスPET素材やFSC認証紙を採用しています。

＜各社が取り組む環境対策のポスターを掲出＞



- ・グループ統一の店頭ポスターイメージ
- ・各社の環境対策を訴求

＜特設サイトを公開＞



https://www.7andi.com/sustainability/g_challenge/project/earthfriendly2023/index.html

- ・クイズ形式で環境配慮の取り組みを紹介

＜環境月間に合わせた、お客様参加型のイベントを各社ごとに実施＞

イトーヨーカドーの取り組み（一例）



- ・SDGs を楽しく学べるすごろくの配布等、お客様とともに環境について考える機会の提供

アカチャンホンポの取り組み（一例）



7月にはライトダウンも予定

- ・ぬりえイベント「みんなでつくるおおきなえ」を通じ、6月の「世界海洋デー」や7月の「クールアース・デー」を考えるきっかけづくり

以上